

# かやの木

新潟県佐渡市立  
赤泊小学校  
学校だより  
令和7年11月4日発行  
No.336



# 大賞

## 第30回

## 新潟県環境賞

総合学習の時の羅針

令和6年度6年生  
金小海岩  
田田老間  
奏美名  
歩月咲  
葵

本中寺小  
田野尾橋  
七護龍文  
翔政子

渡渡八武  
部邊木藤  
陽朝奏小  
向陽那春

## 祝 創立 150 周年

校長 土屋 雅朗

先月25日に「創立150周年記念行事」を開催することができました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。本号では、記念行事関係をまとめてご紹介させていただきます。

■ 記念式典 令和7年10月25日  
【実行委員長あいさつ】 創立150周年記念事業実行委員長 坂井 寛



本日は赤泊小学校創立150周年式典を開催するにあたり、佐渡市長渡辺竜五様をはじめ多数のご来賓の皆さま、多数の地域の皆さま、多数の学校関係者の皆さまにはご多用の中、ご臨席賜りまして、誠にありがとうございます。

記念事業を進めるにあたり、ご理解とご協力を頂きました保護者の皆さま、先生方には、厚く御礼申し上げます。また実行委員・学年委員の皆さまのおかげをもちまして、本日の式典を迎えることができ感謝申し上げます。

さて、赤泊小学校は明治9年に開校し、大正、昭和、平成、令和と150年間、様々な人が関わり、多くの卒業生が巣立ちました。私もその一人です。この学校で友達といろいろな思い出を作り成長することができました。

時代、時代の流れで子どもの数は少なくなっていますが本校は、少人数だからこそできる子どもたち一人一人を大切に教育に取り組んでいます。午前中の学習発表会でもそのような光景がいくつも見られました。赤泊小学校は、長い歴史と伝統を積み重ねながら、今後も進んでまいります。今日まで、皆さまに愛され続けた赤泊小学校に、これまで携わって頂いた全ての関係者の方々に敬意を表すと共に御礼申し上げます。

学校に携わる人は変わっていきますが、学校と共に歩み、伝統を伝え、支えていくのはやはり地域だと思っています。地域の皆さまの愛校心こそが、これからの良き伝統を守っていく原動力になっていくと思います。また、寄付金で沢山のご支援を頂いた皆さまにも心から感謝申し上げます。支援金は、子どもたちの為に大切に使用させていただきます。

子どもたちには、赤泊小学校には自分たちを応援してくれる沢山の地域の方々がいることを誇りに思って『力いっぱい、精いっぱい』赤泊小学校で過ごしてほしいです。みんながそれぞれの夢を叶える気持ち、そして地域を愛する気持ちを持ち続け、その先には、『人こそよけれ赤泊』という言葉が赤泊地区にはあります。この地域とその心を一緒に未来へバトンを繋げていきましょう。

最後になりますが、本日ご臨席の皆さまの健勝とご多幸と、赤泊小学校のいやさか、そして地域の皆さまがこれからも暖かく、子どもたちを見守り、サポートを続けて頂くことをお願いをしまして、挨拶とさせていただきます。

【式辞】 赤泊小学校長 土屋 雅朗



朝の光が海を照らし、やさしい風が「学びの丘」をわたっています。この風のように、赤泊小学校は150年の間、地域のぬくもりに包まれながら歩んでまいりました。

本日この佳き日に、佐渡市長 渡辺竜五様、佐渡市議会議長 金田淳一様 佐渡市教育長 香遠正浩様、歴代校長様をはじめ、変わることなく学校を応援してくださる赤泊地域の皆様、保護者の皆様及び関係の皆様方のご臨席を賜り、創立150周年記念式典を挙げていきますことに、心から感謝申し上げます。

在校生の皆さん。150年というのは、どのくらい長い年月でしょうか。皆さんのおじいさんやおばあさん、ひいおじいさんやひいおばあさんが子どもの頃より、ずっと前のことです。そのころは電気もありませんでした。筆で文字を書き、火鉢やいろりで部屋を温め、みんな一生懸命に学んでいました。延命院の柱には、今でも筆を整えた墨の跡がはっきりと残っています。そうして、たくさんの卒業生たちが、それぞれの時代を一生懸命に生き、社会で活躍するとともに、ふるさと赤泊を支えてこられました。

さて、在校生の皆さんは、これまでの150年の物語の続きを生きる世代です。「じょうぶな体 きれいな心 力いっぱい 精いっぱい」という教育目標に向かって、勉強をがんばり、友だちを大切に、そして、どんなことにもあきらめずに挑戦する姿の一つ一つが、これからの百年をつくっていく力になります。そして、その姿こそが、本校のまた、赤泊の誇りであり、未来への希望です。

保護者の皆様、地域の皆様、関係者の皆様、これからも本校の教育目標の達成に向け、新たな時代に向かって引き続き、赤泊の「地域と共に歩む学校づくり」を進めてまいります。これまでのご協力で心から御礼申し上げますとともに、引き続きご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます、式辞といたします。

#### 【祝辞】

佐渡市長 渡辺 竜五 様



佐渡市立赤泊小学校が創立150周年の節目を迎えられましたことに、地域の皆様、同窓生並びに関係者の皆様とともに、心よりお祝いを申し上げます

また、子どもたちの健康を守り、人格形成において大切な小学校での教育活動に全力で取り組まれている先生方をはじめ、ご両親やご家族の皆様、そして地域の皆様に心より敬意を表しますとともに、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

さて、赤泊小学校は明治9年に開校されてから150年に渡り、多くの優秀な人材を輩出され、「地域全体が学び舎」とする教育方針のもと、児童自身が地域の一員であることを自覚し、積極的に地域との交流を深める活動に取り組まれてきました。

赤泊地区は、かつて、佐渡奉行の渡来港として栄えた歴史を持つとともに、「民話の里」としても親しまれています。この民話の数々は、美しく豊かな自然に囲まれた人々の生活の中で生まれ、古い時代の生活や価値観に触れる教材であるとともに、教訓や道徳がふんだんに盛り込まれ、地域文化の伝承に欠かせない物語として多くの方々に愛されています。

こうした地域と密着した取組は、地域コミュニティにおける自身の立場や役割など、子どもたちに多くの気づきを与え、成長していくきっかけになるとともに、地域の方々と接しながら、地域を知って成長することは、郷土への愛着と誇りを持つ人づくりに繋がり、魅力溢れる佐渡において、ふるさとに誇りを持ち、世界に羽ばたくことのできる子どもたちの育成に大いに貢献するものと確信しております。

児童の皆さんには、この歴史ある佐渡、赤泊地域の魅力をもっと知り、多くの方々によって語り継がれてきた伝統に触れ、母校を愛し、地域に誇りを持てる、心の豊かな人になってほしいと強く願っています。

結びに、これからも末永く赤泊小学校の輝かしい伝統が後世に受け継がれ、子どもたちが健やかに成長されることを祈念しまして、お祝いの言葉といたします。

#### 【祝辞】

佐渡市議会議長 金田 淳一 様



赤泊小学校創立150周年、誠にありがとうございます。佐渡市議会を代表し、心よりお祝いを申し上げます。長きに亘る本校の歴史と伝統を築き地域の学び舎として数多くの有為な人材を輩出し、その揺るぎない礎を築いてこられました歴代の校長をはじめとする教職員、保護者および地域の皆様、そして歴代の首長と議会議員、教育長及び行政関係者に対し、深甚なる敬意と感謝の言葉を申しあげる次第でございます。

およそ150年前、公立赤泊校が創設された明治9年は、武士の特権廃止を目的とした廃刀令が布告され、明治維新後の混乱がまだまだ続いていた時代に当たります。教育の振興は新政府の方針とはいえ、先人たちの並々ならぬご労苦に感謝の気持ちを持ち続けたいと思います。

思えば私自身もこの丘の上で小学生時代を過ごしたひとりであります。豊かな自然と整った教育環境の中で、地域の方々に温かく見守られながら多くのことを学ばせて頂きました。

さて、本校の校歌は有名な詩人である相馬御風の作詞、国民的作曲家である中山晋平が曲をつけた、地域にとっても貴重な財産であることに間違いありません。お恥ずかしい限りですが、小学生であった私は歌詞の意味が正直わからずに歌っていました。卒業式直前のある日、担任の先生から校歌の意味を分かり易く教えていただいた事を、最近懐かしく思い出しました。

越の神山伊夜日子の尊き姿朝夕に 五百重の波の果てに見て 清き心を一筋に学びいそむ 我らなり

一番の歌詞はこの校舎から目の前、海を隔てて臨む越後一宮弥彦神社が鎮座する弥彦山を「伊夜日子」と称え、たくさん重なり打ち寄せる荒波の様子をごひやくにかさなるなみと書いて「五百重の波」と表現しています。厳し

い自然の中でたくましく生きる赤泊の人々の暮らしの中で、誠実に何事にも努力を続ける人に成長して欲しいとの願いを込めた言葉だと私は理解しています。二番、三番についても想いのこもった言葉が続いています。小学生の皆さんには難しいかとは思いますがタブレットなどを活用し、歌詞の意味やお二人の作者について調べることで理解を深めて欲しいと思います。先生方からもご指導いただければ幸いに存じます。そして、この素晴らしい校歌をみんなで大事に、歌い続けていきたいものです。

校歌に込められた「学ぶことの尊さ」や「未来への希望」という精神は、時代を超えて私たち卒業生の心に深く刻まれています。これからの時代を生きる子どもたちには、それらに加えて、変動する社会にも対応できる力が求められるようです。それは人工知能では替えることのできない、人間としての基本的な在りよう、対話力や協調性、やり抜く力などを育むことだと思います。

「じょうぶな体 きれいな心 力いっぱい 精いっぱい」本校の教育目標に相応しい取り組みとして、農作業体験や「みんなでまなぼうさい」という防災訓練など、地域や保護者の皆様と連携し取り組んでいる本校の姿は誠に頼もしい限りです。これからはしっかりとその道を歩み続けられるようお願い申し上げます。私たち議会としても子どもたちが21世紀の荒波にも臆することなく歩んでいけるように、微力ではありますが努力を重ねることをお誓い申し上げます。

結びに赤泊小学校の更なるご発展と、ご臨席の皆様のご健勝、そして全ての子どもたちの輝かしい未来をご祈念申し上げお祝いの言葉とさせていただきます。

### 【祝辞】

佐渡市教育委員会教育長 香遠 正浩 様



本日、佐渡市立赤泊小学校の創立150周年を記念する栄えある式典で、多くの学校関係者並びに赤泊地区の皆様と共に喜びを分かち合えることに感謝し、佐渡市教育委員会としてお祝いを申し上げます。

赤泊小学校は、明治9年に創立し、以来、明治・大正・昭和・平成・令和と幾多の変遷を経ながら、150の歴史を刻み続けてきました。

この間、学習指導研究会、へき地複式研究会、特殊教育研究会、県小学校教育研究会家庭科研究大会など、多くの教育実践を発表し、素晴らしい実績を積み重ねました。特に、令和5年度から取り組まれた文部科学省委託による道徳教育研究では、昨年9月に発表会を開催し、島内外から150名を超える参加者を迎え、盛大に行われたことは記憶に新しいところです。また、学校給食における「文部大臣賞」、子ども銀行の「大蔵大臣・日本銀行総裁賞」、さらには現在の校舎が「文教施設協会賞」を受賞するなど、輝かしい表彰歴ももっています。これらは、歴代の校長先生はじめ、その時々教職員と子どもたちによる真剣な教育活動の成果であります。

さらに現在は、地域を学びの場にとらえ、校外学習をはじめ地域の方から学んだり、地域の方と一緒に活動したりする機会を充実させています。まさに地域と共に歩んでいる学校であり、地域の活性化にも寄与しているものと考えます。また、「南佐渡を愛し、地域を元気にする子ども」を目指し、南佐渡中学校、羽茂小学校、小木小学校、赤泊保育園と連携しながら、地域の共通課題の解決に努めています。今後も、学校・保護者・地域が一体となって、さらなる連携・協働が推進されますようご期待申し上げますとともに、佐渡市教育委員会としても支援してまいります。

結びに、本記念事業を実施するにあたり、企画・運営に携わってこられました学校職員、保護者並びに地域の皆様方のご尽力に対し感謝を申し上げますとともに、赤泊小学校の児童一人一人の健やかな成長、そして本日ご参会の皆様のご健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

### 【喜びの言葉】

児童代表 渡部 彩来



赤泊小学校創立150周年おめでとうございます。この150年という節目の年に私自身が、歴史を刻む一人になれたことを、とてもうれしく思います。

私たちが、先輩から代々受け継いできた、赤泊小学校の伝統である、マーチングは運動会や赤泊港まつりなどで、地域の多くの人に見てもらって、とても大切にしている、活動の一つです。私は、多くの人に見てもらっている時、緊張はするけれど、赤泊小学校の子どもたちが、一生懸命取り組んでいる姿を見て、すごいなと思ってもらえるように、がんばっています。

また学年関係なく仲良くできることや、気軽に話せる生先方がいるところも、赤泊小学校の良さだと思います。

学校教育目標の「じょうぶな体 きれいな心 力いっぱい 精いっぱい」という言葉は、赤泊小学校の子どもたちにとって、とても大切な言葉です。

私たちの赤泊小学校が、これからも愛される学校であり続けることを心から願っています。

# 創立 150 周年記念行事

10月25日(土)、本校では創立150周年記念行事を開催いたしました。

渡辺佐渡市長様、香遠教育長様、金田市議会議長様、歴代校長様を始めとするご来賓の方々、保護者や地域の皆様から多数ご参加いただき、盛大に実施することができました。

## 学習発表・全校合唱

### 1・2年生 くじらぐも ～赤泊バージョン～



1・2年生は、1年生国語の教科書教材「くじらぐも」と2年生生活「町探検」を組み合わせた音読劇でした。子どもたちがくじらぐもに乗って赤泊の街を周遊しながら、自分たちの住む町を紹介する姿から、赤泊を愛する気持ちが伝わりました。

### 5・6年生 赤小おんでこ 2025

～見せつけろ!15人X150%のチームワーク!全員主役の全力・感動の舞～



佐渡全土に伝わる鬼太鼓。地域によって特色があります。赤泊でも地区によって踊りが違います。赤泊鬼太鼓は、完全オリジナルの鬼太鼓です。各地区から集まる子どもたちが、平等に学べるようにと講師の方が赤泊小学校バージョンの振付を考えたのが、ずっと赤泊小学校で継承されています。先輩から脈々と受け継がれてきた赤小鬼太鼓を踊る5・6年生から、赤泊に生きる誇りを感じました。

### 3・4年生 赤泊に受け継がれてきたもの～かやの実伝説劇・赤泊唄～



赤泊に伝わる民話に、天狗が、「飢饉の際に、かやの実を食べるとよい」と人間に教えたという話があると知りました。総合的な学習の時間で、かやの実を使って起業し地域活性化を目指す方を講師に招き、地域の宝について学びました。子どもたちは、伝説と今をつなげて劇にしました。現代と伝説をつなげる考察が面白い発表でした。

### 全校合唱

「幸せなら手をたたこう」「地球へ」



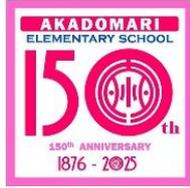
「幸せなら手をたたこう」は、体のいろいろな部分を鳴らしながらリズムよく歌う歌です。聴いていると思わず一緒に体を動かしたくなるくらい楽しそうに歌っていました。「地球へ」は、大切な命を未来へつないでいきたいという思いが伝わる歌です。子どもたちから、「赤泊小学校がいつまでもありますように」という思いが伝わりました。

## 創立 100 周年時タイムカプセル開封

50年前の昭和50年、当校創立100年時に埋めたタイムカプセルを開封しました。当時の教職員や児童が参集し、当時を思い出しながら思い出に花が咲かせていた様子でした。タイムカプセルの中には、当時の児童が書いた作文や教職員が入れた学習用具などが入っていました。このような節目を迎えられたことは、地域の皆様の温かなご支援のおかげです。これからも、子どもたちの未来を育む学校づくりに努めてまいります。



## 記念式典



坂井実行委員長の挨拶、土屋校長の式辞に続き、渡辺佐渡市長様、香遠教育長様、金田市議会議長様からご祝辞をいただきました。地域と共に歩み続けた150年を称えていただくとともに、赤泊小学校の今後の発展を願うお言葉をいただきました。誠にありがとうございました。児童代表として、渡部彩来（わたなべ さら）さんが喜びの言葉を述べました。『これからも地域に愛される学校であり続けたい』と、地域と共に生きる強い気持ちを会場の皆様に伝えました。

児童、ご来賓、保護者の皆様、地域の皆様、教職員合わせて総勢およそ150名で、創立150周年を祝うことができました。

## 記念アトラクション



赤泊の伝統芸能である、「恵比寿大黒舞」と「赤泊鬼太鼓」に出演していただきました。赤泊鬼太鼓では、小学生の子どもたちも出演して、大人の鬼に交じって、踊りを披露しました。

## くす玉割り・記念撮影



式典、アトラクション終了後、ご来場の皆様でくす玉割りと記念撮影を行いました。子どもたちは、クラッカーで、会場を盛り上げました。

## 記念祝賀会

16時より、サンライズ城が浜にて記念祝賀会を実施いたしました。ご来賓、保護者、地域の皆様、教職員の総勢77名で盛大に執り行うことができました。東京赤泊会会長の信田様、元PTA会長の倉田様からお祝いの言葉をいただき、赤泊行政サービスセンター長の佐々木様から乾杯のご発声をいただきました。大変多数の方からご出席いただき、「地域とともに歩む赤泊小学校」を改めて実感いたしました。



## 9/30 5・6年生模擬選挙出前授業

5・6年生が主権者教育の一環で模擬選挙出前授業を実施しました。佐渡市選挙管理委員会をお招きして、選挙の仕組みや仕方を学んだり、模擬選挙を体験したりしました。校長と担任を仮想市の市長候補に見立て、実際の選挙を体験しました。



## 9/30 3年校外学習

### 「佐渡乳業・フレッシュマツヤ佐和田店」

酪農に関して、原料から商品になるまで、どのような人たちが関わっているのか、またそれぞれの仕事でどんな工夫をしているのかについて学びました。スーパーの見学では、バックヤードも見ていただき、商品がどのように自分たちの元へ届くのか知りました。おいしい佐渡乳業のアイスも購入し、楽しい見学になりました。



## 10/2 校内マラソン大会

前日の雨で実施が心配でしたが、当日は快晴。素晴らしい天気の下、マラソン大会を実施することができました。一人ひとりが自分の目標をもち、沿道の応援を力に変えて力の限り走り抜きました。



## 10/7 親子清掃活動

親子で校舎をきれいにする活動、「親子清掃活動」を実施しました。

赤泊小学校 PTA 総務部の皆さんが中心となって、進行をしてくださいました。

大人は窓ふき、子どもは教室、廊下掃除を行いました。



## 10/10 全校遠足

佐渡毎羊洞香水(NISACO)工場見学 ⇒ 松ヶ崎岬並み保存地区 ⇒ 松ヶ崎歴史パークのおよそ2.5kmルートを全校で歩きました。全校で歩き、お弁当を食べ、遊んだ最高の1日になりました。



日	曜	行事	下校時刻(バス)
1	土	南佐渡中文化祭	
2	日		
3	月	文化の日	
4	火	通級指導教室・SC来校日 いじめ見逃しゼロ強調月間 出張子育て支援センター 5・6年出前授業(野村証券)5、6限	1~2年14:45(15:45) 3~6年15:30(15:45)
5	水	3年校外学習1~3限(本間酪農場)	1年14:45(14:50) 2年14:45(15:45) 3~6年15:30(15:45)
6	木	フッ化物洗口、クラブ⑧	1~3年14:45(15:45) 4~6年15:30(15:45)
7	金		1~2年14:45(15:45) 3~6年15:30(15:45)
8	土		
9	日		
10	月	家庭学習強調週間	1~6年14:45(15:00)
11	火	通級指導教室 第5回創立150周年記念誌部会13:30~	1~2年14:45(15:45) 3~6年15:30(15:45)
12	水	フッ化物洗口、赤小田んぼ感謝の日 第7回創立150周年記念事業実行委員会15:00~	1~2年14:45(15:45) 3~6年15:30(15:45)
13	木	委員会⑩	1年14:45(14:50) 2~4年14:45(15:45) 5・6年15:30(15:45)
14	金		1年14:45(14:50) 2年14:45(15:45) 3~6年15:30(15:45)
15	土		
16	日		
17	月	児童朝会(図書)、集金日 読書旬間~28日	1年14:45(14:50) 2~6年14:45(15:00)
18	火	通級指導教室	1年14:45(14:50) 2年14:45(15:45) 3~6年15:30(15:45)
19	水	フッ化物洗口	1年14:45(14:50) 2年14:45(15:45) 3~6年15:30(15:45)
20	木	クラブ⑨	1~3年14:45(15:45) 4~6年15:30(15:45)
21	金	中学校区学校保健委員会	1年14:45(14:50) 2年14:45(15:45) 3~6年15:30(15:45)
22	土		
23	日	(祝)勤労感謝の日	
24	月	振替休日	
25	火	生活目標講話・ふれあいタイム 通級指導教室	1年14:45(14:50) 2年14:45(15:45) 3~6年15:30(15:45)
26	水	フッ化物洗口、歯の保健指導1~3年3限 SC来校日	1年14:45(14:50) 2年14:45(15:45) 3~6年15:30(15:45)
27	木	読み聞かせ13:30~13:45 栄養指導5限5・6年 VS活動(清掃時)、委員会⑪	1~4年14:45(15:45) 5~6年15:30(15:45)
28	金	低学年バス運行終了	1年14:45(14:50) 2年14:45(15:45) 3~6年15:30(15:45)
29	土		
30	日		



11月のスクールカウンセラー来校日は、  
11月4日(火)と26日(水)です